

10 がつ 23 にち 木ようび

した。まっしろいくものくじらです。
「二三四」
大きなくじらがあらわれま
たいそうをしいると空に
ねんにくみの予どもたちが
四じかんめのことです。

1 2 3 4 5

かんじ

10 がつ 22 にち 水ようび

十子空 八七六五四三二一 天
木大一小 一二三四五六七八九

くじらぐもたいそうをはじめました。どのかたちもあし
だりしー、しんこきりもしました。みんながかけあし
でうんどうじょうをまわると、くものまじらもそらも
まわりました。先生がふえをふいて、どのまれのあいずを
するとくじらもとまりました。ほわれみぎ先生がこう
れいもかけるとくじらも空でまわれみぎをしました。
あのくじらはきつとガッこうがすきなんだね。みんなは
大きなこえで「おうい」とよびました。「おうい」くじらもこ
たえました。ここへ「おいでようみ」みんながそろそろここへ
おいでようとくじらもさそいしました。よし、さうとここへ
くじらにとびのろう男の子も女のこのもはりきりました。
みんなは手をつないで、まるいわになる。と天までとどけた。
一二三でもとんだのは、やうと三ヤセ、チぐらいです。
もったかくもつたか、くどくじらが、おうえん、いまだした。